

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (東海)		商店街（代表者）	・東京オリンピックに向けて、景気は一層良くなる。
		商店街（代表者）	・4～5月にかけて全国菓子博覧会が開催されるため、地域への来客数が増加し、売上増加にもつながる。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	・新年度予算が動き出し、販売量の増加が見込まれる。
		百貨店（経営企画担当）	・ターミナル駅に新しい商業施設ができ、来客数の増加が見込まれる。オフィス人口も増えており、様々な需要が生まれ業績向上につながる。
		スーパー（経営者）	・3か月先の景気は、原油価格の上昇で、商品も値上がりし、デフレ脱却につながるため、やや上向き。ボーナスはあまり良くないかもしれないが、雇用面では失業率が3%を切る状態で、良い方向に向かっている。
		スーパー（店員）	・少しずつ来客数が増加し、購入単価も徐々に上昇しており、やや良くなっている。
		スーパー（総務担当）	・曜日別の売上では、週中の火曜日、水曜日の売上が著しく増加している。
		スーパー（支店長）	・大河ドラマの効果で景気は上向きである。今年1年は、販売増加が見込まれる。
		コンビニ（企画担当）	・東京オリンピックに向けて、インバウンドを含む人の動きは増える。地域でも、新規レジヤ施設の開業やリニア中央新幹線の整備もあり、人の動きはプラスが続く。
		コンビニ（エリア担当）	・中食による販売量の回復に伴って、来客数も回復傾向にある。
		乗用車販売店（従業員）	・商品の動きが良く先につながる話もあり、期待が持てる。仕入れが難しいという要因はあるが、これだけ動きが良ければ、景気は悪くない。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・今のところ悪い材料はない。
		その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	・これから外出の機会が多くなり、春の装いに合わせて手元や首元を気にする人が増えるため、新作品等、ジュエリーへの関心が高まる。
		高級レストラン（役員）	・歓送迎会等、各種宴会の予約状況は、前年同期を上回っている。
		一般レストラン（従業員）	・会社での利用が増えてきており、景気が良くなっている。
		一般レストラン（従業員）	・3月はスポーツの国際試合の中継が続き暇であったが、そういった要因がなくなれば、客足が回復する。
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・消費者には、景気が良くなっているという認識が広がっている。
		旅行代理店（経営者）	・気候が良くなり、経済的にも悪い材料もなく、少しは上向きになる。
		ゴルフ場（企画担当）	・5月の予約数は前年並みに落ち着き、ゴルフシーズンとなるため大きな落ち込みはない。6月になると梅雨に入り、天候次第で来客数は大きく変わるが、これからの時期は3月よりは上向きとなる。
		美容室（経営者）	・行楽シーズンとなり、忙しくなってくる。
	美顔美容室（経営者）	・4月からキャンペーンが始まり、新規客の来店が見込まれる。	
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・人手不足が続くなかで人材確保のために時間給は上昇が見込まれる。採用人数は計画を下回り人手不足が解消しないため、従業員の処遇改善はこの先も続く。	
	住宅販売会社（従業員）	・ゴールデンウィークが近付き、消費税の再増税について真剣に考え始める時期であり、来場者の増加を期待している。	
	その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・店舗、工場の改装工事や住宅新築等の見積依頼や工程連絡が届いており、売上は増加が見込まれる。	
	商店街（代表者）	・必要最低限の物以外はなかなか売れない。低い水準のまま変わらないと見込まれる。	
	商店街（代表者）	・取り立てて、何か良くなるような材料は見当たらない。	
	商店街（代表者）	・購買意欲はずっと停滞が続く。政府は賃上げを推進しているが、周りで増えている実感はなく、生活必需品以外の物を買う雰囲気は感じられない。	
	一般小売店〔結納品〕（経営者）	・しばらくは、消費マインドが良くなるような要因も見当たらず、非常に厳しい状況が続く。	
	一般小売店〔土産〕（経営者）	・先行きも良い状況から変わる様子はない。	
	一般小売店〔生花〕（経営者）	・消費者には、なるべく出費を控えようという風潮が根強い。	

一般小売店〔薬局〕 (経営者)	・身の回りでも廃業する店が散見され、景気は非常に悪いままである。都市部ばかりが発展し、地方経済は落ち込みが続く。
一般小売店〔土産〕 (経営者)	・良い状態から変わらない。
一般小売店〔酒類〕 (経営者)	・客先の飲食店の様子からは、先行きも生活者が飲食をする機会が増えるようには考えられない。
一般小売店〔贈答品〕 (経営者)	・好況な企業等の消費は活発だが、厳しいところでは削減が続く。二極化によって、しばらくの間は全体としての数字は変わらない状態が続く。
一般小売店〔果物〕 (店員)	・3か月ほどでは現状から変わらない。
一般小売店〔和菓子〕 (企画担当)	・経済そのものの要因ではなく、政治の問題や海外情勢の問題等で先行きが見通しにくく、景気がどちらの方向に向いているかがはっきりしない。
百貨店(企画担当)	・食品や化粧品の動きは堅調で高額商品にも動きがあるが、衣料品や服飾雑貨等の動きが悪い。消費者のニーズが変化し、二極化が顕著となっており、先行きもその傾向が続く。
百貨店(経理担当)	・春闘では、先行きの不透明感から、前年割れの回答が目立ち、所得の増加による消費回復は、先行きも期待できない。
百貨店(販売促進担当)	・前年から続く低迷化の流れは、しばらく変わらない。
百貨店(販売担当)	・新作商品の投入やビル全体でのイベント等、販促施策が安定して行われるため、大きな変動はない。
百貨店(販売担当)	・プチギフト的な商品の動きは良いが、客単価は若干下落している。
百貨店(販売担当)	・米国の政策や諸外国の動向により、株価や為替の先行きには不透明感が強く、購買意欲は依然として弱い。首都圏への一極集中が強まるなかで、地方経済を活性化する要因も乏しい。
スーパー(経営者)	・例年同様、7月ごろは、行事等の多い8月を控え、売上増加は見込めない。
スーパー(店長)	・米国の施策の影響やそれに伴う為替の変動によって、輸入食品等の価格上昇が懸念される。そういった報道があると、客の財布のひもも固くなる。
スーパー(販売促進担当)	・明るい話題も景気が良くなりそうな話題もない状況では、先行きも変化しない。
スーパー(販売担当)	・客が飽きないように様々な販売施策を行い、それがヒットしているため、夏から秋ごろに競合店がオープンするまでは、このまま好況が続く。
スーパー(企画・経営担当)	・2～3月のイベント関連商品と同様に、花見や子供の日関連の商品の動きが良ければ、引き続き前年よりも上向きの推移が期待できる。
コンビニ(店長)	・客層の高齢化により引き続き販売量が減少する。新規客の開拓が厳しい状況である。
コンビニ(企画担当)	・外部環境は悪くなっており、現状から良くなる要因がない。
コンビニ(エリア担当)	・ブランド移行する店が増え、宣伝効果も伴って売上増加を期待するが、それが一巡すると、コンビニ業界全体としては伸びる余地はないため、大きく変わることはない。
コンビニ(エリア担当)	・しばらく現状のままの推移が見込まれるが、夕・夜間の対策や春季キャンペーン等で、販売全体の改善を図るとともに、米飯商品にも力を入れる。
コンビニ(エリア担当)	・当面は今月と同様に好調に推移する。
コンビニ(店長)	・外部環境が好転するとは考えられないので、現在のような状況が続く。
コンビニ(店長)	・売れる商品は定番商品に限られ、新商品等の動きはあまり良くなく、消費行動は活発ではない。
コンビニ(商品開発担当)	・財布のひもが固い状況が続いており、短期的には回復の兆しがみられない。
衣料品専門店(販売企画担当)	・客の購買意欲は回復がみられない。
家電量販店(店員)	・金額の高い見積り依頼等はなく、期待できない。
乗用車販売店(従業員)	・特に大きな変化はないが、春闘等での動きが前年よりも低調であると、先行きは影響が懸念される。
乗用車販売店(従業員)	・販売増加を期待できる要素もなく、前年の数字を維持することさえ厳しい状況である。
乗用車販売店(総務担当)	・特段のマイナス要因はないものの、為替を含め経済の動きが見通せないため、消費は盛り上がり欠ける。

住関連専門店（営業担当）	・新築分譲住宅の増加は見込みはない。賃貸の需要は旺盛であるものの、新築に対しては様子見である。大規模改修や住宅リフォーム関係等は、引き続き好況が見込まれる。
一般レストラン（経営者）	・欧米の経済、政治情勢が急変する恐れがあり、将来に対して期待が持てない。
一般レストラン（経営者）	・先行きも良くなる理由が見つからない。
観光型ホテル（販売担当）	・2か月先の予約状況は、一般宴会と食堂部門にやや不安は残るものの、宿泊宴会の受注が前年同月比で5%ほど上回っている。婚礼部門も前年よりは良く、全体的にみても引き続き改善が見込まれる。
都市型ホテル（従業員）	・予約数から、先行きも変わらないと見込まれる。
都市型ホテル（経営者）	・不確定な要素が多く、先が読めない。
都市型ホテル（経理担当）	・宴会、宿泊の予約状況は、前年並みである。
旅行代理店（経営者）	・受注件数は増加が続いており、今後もしばらくは良くなるが、業界全体では、淘汰が加速していく。
旅行代理店（経営者）	・4月から新年度が始まり、職場や部活の休み等のスケジュールが決まると旅行ムードが高まる時期なので、期待をしている。6～7月分の問い合わせは増えているが、客は相変わらず価格に厳しい。格安旅行会社の破産が話題となっているが、地元の店としては慎重に取引先を選んだ上で客に提供しているので、信用して予約して欲しい。
旅行代理店（経営者）	・良くなる要素が見つからない。
旅行代理店（経営者）	・人口減少で需要が縮小するなかで、インバウンドによって支えられる業種と内需でしか成り立たない業種で、街のにぎわいも二極化している。都心部から電車で20分ほどの距離でも、居住者が言葉の通じない外国人と高齢者ばかりの地区では、消費需要が見込めず、限界集落となりつつある。
旅行代理店（従業員）	・春先の旅行申込は、横ばいである。2回目のプレミアムフライデーも話題に上がらないほど低調である。特設パンフレットスタンドを作って近場の旅行プランを推進しているが、需要はほぼゼロである。4月には選挙もあるため団体旅行の需要は見込めず、良くなる要素はない。
タクシー運転手	・繁華街には人出が少ない状態が長く続いており、3か月や半年では変わらない。週末に人出が増えて景気は良くなるかと思えば、週明けには元に戻ってしまう。
タクシー運転手	・5月前半はゴールデンウィークで、仕事や夜の利用客が減って苦しいが、2～3か月後には、今の良い状態に戻っている。
タクシー運転手	・タクシー業界は、景気が多少回復しても、すぐには良くなるらない。
通信会社（企画担当）	・先行きへの不安や人手不足感はあるものの、当地では大河ドラマの効果や工場移転による人の流れの変化等で、しばらく今のまま良い状況が続く。
通信会社（営業担当）	・年度末でさえ横ばいの状況なので、来月以降は注文が増える要素がなく、このまま変わらない。
通信会社（営業担当）	・今後も設備投資が順調に続き、現状維持が見込まれる。
テーマパーク（職員）	・世界情勢や円高等、様々な不安材料があり、インバウンドの動きも見通しづらい。
テーマパーク（職員）	・予約状況や問い合わせ等は例年並みである。
テーマパーク職員（総務担当）	・好転する要因が見出せない。
その他レジャー施設 [鉄道会社]（職員）	・この先に話題性のある企画の予定がなく、変化を期待しづらい。
その他レジャー [スポーツレジャー紙]（広告担当）	・国内の景気が極端に悪くなることはないが、海外情勢が不透明である。
美容室（経営者）	・客の話題では明るいニュースもイベント等もなく、生活防衛意識が強まっており、現状から変わらない。
美容室（経営者）	・地域の景気は悪いままで、今後も良くならない。
その他サービス [介護サービス]（職員）	・前年末に介護保険制度の2018年度からの改正の方向性が決まってから、レンタル商材への投資が積極的になっている。しかし、今後は福祉用具貸与価格が統制されるため、価格設定が難しくなっている。
設計事務所（職員）	・海外との関係も含む政治の安定感が景気に一番影響する。今の状況では、景気が良くなるとはとても思えない。
住宅販売会社（従業員）	・大きく変わる要因はない。

その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	・例年と変わらず、物件の仕入れ状況は横ばいである。
商店街（代表者）	・卒業、新入学等の祝い菓子の販売が例年より落ちており、傾向としてはやや悪くなると見込まれる。
百貨店（売場主任）	・店頭でネット検索する人もおり、今後、ネットで購入する客が増え、百貨店の売上は一層厳しくなる。
百貨店（計画担当）	・足元では、あまり消費を抑制するムードはないが、特に富裕層の消費動向は株価と連動するので、今後は購入意欲の減退が危惧される。
スーパー（店員）	・4月以降にサラダ油や小麦粉の価格が上昇するとの情報がある。今後ニュース等でこの話題を目にする機会が増えると、消費者心理へのマイナスの影響が懸念される。
スーパー（販売担当）	・良くなる条件が何も見受けられず、先行きは悪くなる。
スーパー（ブロック長）	・新年度から、輸入原料価格の上昇で各種食品の値上がりが見込まれるため、厳しい状況となる。
スーパー（商品開発担当）	・売上は前年同期比で95%と非常に厳しい。来客数は99%と、以前に比べるとやや回復しているが、前年割れが続いているため、今後も苦戦が見込まれる。
家電量販店（店員）	・どの業界も同様で、米国の大統領の動き次第では、先行きも変わる。
乗用車販売店（営業担当）	・決算前の駆け込み需要の反動減と、減税対象の縮小により、販売台数は減少する。
乗用車販売店（経営者）	・販売面では、先行きの契約件数は落ち込みが見込まれる。
乗用車販売店（経営者）	・資本金のある同業他社や異業種からの参入で、車検や保険事業は、一層厳しい環境となる。
乗用車販売店（経営者）	・4月からの販売需要は明らかに少なくなる。
乗用車販売店（従業員）	・例年ならば、4月からも3月の受注残でそれなりの結果になるが、今年は増税を前に多少無理してでも3月に登録をしたため、先行きが非常に不安である。工場への在庫も、価格競争が激しくなっており、ここ数か月は厳しい状況が続く。客との話でも、ガソリン代が高くて遠出を控えているという声が多い。
乗用車販売店（従業員）	・新型車両の投入予定がしばらくはなく、客の購買意欲を喚起する手段に欠ける。客との会話からも財布のひもは、まだまだ固く、販売環境が改善しそうな感触が得られない。
乗用車販売店（従業員）	・国有地売却関連や東京の市場移転の問題が長引いている。北朝鮮や中国の動向等、良い情報はなく、景気が回復するような状況ではない。
乗用車販売店（販売担当）	・4月から車両本体価格が約2%上昇する車種が多い。税制改正で減税額が変わる車種ではお得感が薄れ、販売状況は厳しくなってくる。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・生活者の志向は、物を買うというモノ消費から、どこかに出かけるというコト消費に変化している。
一般レストラン（経営者）	・歓送迎会等の大きな宴会で予約客の動きが良く、予約なしの客もそれなりに動きがみられる。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・国内外共に、明るい材料が見当たらない。
観光型ホテル（経営者）	・4～5月は地元客が多く、県外客は減る時期である。地元の宿泊需要、昼食・夕食需要等が弱い状況では、前々年にできた近隣競合施設の影響が出てくる。小さな町のパイを奪い合っている状態では、数字は伸びない。
都市型ホテル（支配人）	・ターミナル駅周辺では、ホテルの新規オープンが相次ぐが、新たな需要創出要因は見当たらず、需給バランスの悪化が懸念される。
通信会社（サービス担当）	・引越しラッシュが終わり、申込件数は減少する。
観光名所（案内係）	・政府の景気対策の取組が見えない。一般市民のなかで、景気が良いと感じる人はわずかである。市民の目から見てわかる政策をよく考えて欲しい。
パチンコ店（経営者）	・業界全体が薄利多売の傾向にあり、客もその傾向を好んでいるため、客単価が下落していく。
理美容室（経営者）	・客との会話では景気の良い話はなく、むしろ段々悪くなっていく。
設計事務所（職員）	・打合せの会話でも、景気が良くなるような話題はない。
住宅販売会社（従業員）	・分譲住宅の売行きは悪い。リフォームの依頼は増えている。
その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・仕事量は確保できてはいるが、受注金額が低いため、売上は前年割れが続いている。まだまだ厳しい状態である。

	x	商店街（代表者）	・電気料金等の改定や年金受給額の減額等で、高齢者層の購買力が低下している。
	x	衣料品専門店（経営者）	・厳しい状況が見込まれるが、客を大事にして、しばらくは商売を頑張って続けていく。
	x	衣料品専門店〔紳士服洋品〕（売場担当）	・現況から好転する材料や根拠が全く見当たらない。4月にはターミナル駅エリアに新たな商業施設ができ、そちらに客足が流れる。
	x	スナック（経営者）	・禁煙問題、年金のカット等、悪い要因ばかりが増えており、回復はとても望めない。
	x	理容室（経営者）	・まだまだ景気が良くなるとは思えない。
	x	住宅販売会社（経営者）	・物件がなかなか売れず、大幅にだぶついている。今後もこのような状況は続き、景気は悪くなる。
企業 動向 関連 (東海)		食料品製造業（経営企画担当）	・食に関する消費は徐々に上向いている。付加価値の高い商品を求める傾向が強くなってきている。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・メキシコでの自動車向け設備投資にも不透明感はなくなり、中止や延期になっていたプロジェクトが再開している。米国内でも、急に設備投資案件が決まった納期の短い案件が増えている。
		通信会社（法人営業担当）	・新年度が始まり、お祝い等で物入りな時期となるため、おのずと景気が上向くのではと期待する。
		金融業（従業員）	・東京オリンピック等、ある程度イベントによる景気の上昇が見通せる部分もあり、上昇ムードのなかで、景気は比較的良好な方向に向かっていく。
		金融業（法人営業担当）	・地元自動車メーカーの国内生産は、4月以降も前年比でやや増加傾向にあることから、取引先の部品メーカーでも、受注・生産量共に堅調な推移が見込まれる。
		行政書士	・新年度となり、新規荷主の獲得競争が活発になる。
		会計事務所（社会保険労務士）	・夏ごろまでは受注が見込める。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・今後数年はシステムの改修案件が続き、委託先である当社の業務も安定的に見込める。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・円相場が一定水準以上に円高になれば、業況は問題ないが、あまり円高が進むと心理的にも厳しくなるため、新製品の開発を更に進める必要がある。
		食料品製造業（営業担当）	・需要は減少しており、企業業績としては伸びしろがないことから、先行きも横ばい傾向である。
		化学工業（営業）	・客の発注見通しから、販売量は横ばいが見込まれる。
		化学工業（総務秘書）	・景気が悪くなる具体的な要因はない。政治も、相変わらず市場移転や国有地売却関連等あまり重要ではないことに時間を割いており、政策による景気への影響もない。
		化学工業（人事担当）	・企業業績は決して悪くはないが、国民のほとんどに景気が良いという実感がなく、消費に金が回らない状況がしばらく続く。
		金属製品製造業（従業員）	・仕事量がない一方で原材料費が高止まりという状況は、変わりそうもない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・受注量、販売量は、高い水準を維持している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・客の様子からは、2～3か月後も良くなるとは思えないので、現在とほぼ同じ状況が見込まれる。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・安定した売上が続いており、しばらくはこの状態が続く。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・ガソリン価格は上昇傾向にあるが、これ以上買い控えが強まることはなく、横ばいとなる。
		輸送用機械器具製造業（デザイン担当）	・受注量が安定している。
		建設業（経営者）	・大手自動車メーカーが立地しているが、春闘でも経営者側は慎重姿勢を崩さず、状況が全く読めない。消費者の動向がどう変化するかは、今後の経済の動き次第である。
	輸送業（経営者）	・消費財関連の荷主の物流手配状況を見ると、当面は消費拡大は見込めない。	
	輸送業（従業員）	・米国の大統領の政権運営によっては、貿易不均衡の問題等が徐々に影響してくる。	
	輸送業（エリア担当）	・燃料の軽油価格は、前年比で1リットル当たり10円近く値上がりしており、先行きがやや心配である。	
	輸送業（エリア担当）	・為替の先行きが不透明で、輸出入量には大幅な変化はない。	
	輸送業（エリア担当）	・足元の荷物取扱量は、前年同月比で2%近く増加しているが、運賃は下落している。荷物の量だけみれば上向きだが、それに伴う対価が下落しており、景気の動きは何ともいえない。	

	金融業（企画担当）	・株高、円安が一段と進み個人投資家の資産効果が大きくなり、個人投資家以外では給与アップで可処分所得が増えてこない、景気は回復しない。
	不動産業（経営者）	・中小企業の不動産売買の需要には、大きな変化はみられない。
	不動産業（用地仕入）	・マンションの販売価格は依然高止まりをしており、下落する気配はない。
	広告代理店（制作担当）	・先行きは不透明で、2～3か月後も良くなる要因が見当たらず、不安定な状況が続く。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・新聞の購読者数は相変わらず厳しいが、折込広告が堅調に推移している。
	公認会計士	・電力料金や輸入原材料の価格上昇、人材不足による人件費の増加、大企業からの値引き要請等は、依然として変わらず、中小企業の収益性が低い原因となっている。
	会計事務所（職員）	・生活関連商品は相変わらず安値が続く、特売商品の広告が目立つ。その一方で、特に高齢者には購買意欲が見受けられない。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・3月の決算期が終わり、為替は円高傾向に向かっており、客からは良い情報もないため、現状よりも景気はやや悪くなる。
	窯業・土石製品製造業（社員）	・急速に停滞ムードが広がっており、様子見で原料の注文等を控える動きも出ている。停滞の原因がわからないので不安である。
	鉄鋼業（経営者）	・例年、4～6月期の受・発注量は、1～3月期より2割ほど落ち込む。3月には例年より5%以上ダウンしているため、そのまま落ちれば、例年より1割以上のダウンが見込まれる。
	金属製品製造業（経営者）	・引き合いの量、価格共に低下傾向である。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・円高の影響が表れ、客先の海外工場向けの販売が減少する。
	輸送業（エリア担当）	・荷物の個数は横ばいで、人件費が高騰してきている。内部で処理できない仕事を外注しているが、外注先が集まらないため発注単価も上がっている。当面の収支は更に悪化する。
	x 電気機械器具製造業（営業担当）	・個人レベルの影響に対しては、改善方法がわからない。
雇用 関連 (東海)	-	-
	人材派遣会社（支店長）	・改正労働者派遣法の対応で、派遣スタッフの契約切替えを検討している。受注数は引き続き堅調であるが、雇止めに伴う退職者のフォローが避けられないため、緩やかな推移が見込まれる。
	アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車の輸出台数は増加が見込まれるため、生産量は増加し、それに伴って雇用者数も増加する。
	人材派遣会社（営業担当）	・年度が替わり、求人活動は一段落となる。求職者も4月を目前に就職活動する人が多いため、転職市場は動きが穏やかになる。
	人材派遣会社（営業担当）	・明るいニュースは期待できず、大きく変わらない。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・景気の動きにつながるような地元でのトピックスはない。
	職業安定所（所長）	・人材確保のために賃金をやや引上げる企業が増えており、人件費の増加で利益が伸び悩んでいる。
	職業安定所（職員）	・介護やサービス業等では人手不足の企業からの求人が多いが、求職者とのミスマッチが生じている。
	職業安定所（職員）	・有効求人倍率は、6か月連続で前年同月を上回っており、人手不足の声は、中小企業や建築、介護、サービス業では特によく聞かれている。米国大統領の政策や為替相場の影響に対する不安の声も、引き続きよく聞く。
	民間職業紹介機関（営業担当）	・人事担当者は4月以降は中途採用に体力をかけるが、ゴールデンウィーク明けからは、大手企業の募集が積極的になる。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・インターンシップ受け入れ企業の件数や、対象学年等は、前年並みである。
	人材派遣会社（社員）	・人材の動きが、一段落する。
	人材派遣会社（社員）	・先行きの予約状況はあまり良くなく、例年に比べても良くない。
人材派遣会社（社員）	・引き続き慢性的な人材不足が続けば、生産性の低下を招き、景気が悪くなる恐れがある。	

	新聞社 [求人広告] (営業担当)	・ 例年 4 月は動きが鈍くなり、ゴールデンウィークに入るためサービス、観光等を除いて経済活動は停滞する。中途採用の動きも、新入社員の定着具合等をみてから検討するため、やや鈍化する。飲食店やレジャー施設の新規オープンで、パート・アルバイトは大幅に不足しているため、これらの動きに期待をしている。
	民間職業紹介機関 (窓口担当)	・ 4 月中旬までは足元の状況が続くが、その後、夏ごろまでは、人材の動きは一旦落ち着く。
	民間職業紹介機関 (支社長)	・ 米国や英国等の海外情勢不安から、投資意欲が減退している。
x	-	-